

平成25年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月16日

中国運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
1	三次市地域公共交通会議 (三次市、広島県、広島運輸支局、警察署、学識経験者、住民又は利用者代表、私鉄中国地方労組備北支部、備北交通㈱、(有)甲奴タクシー、三次みどりタクシー㈱)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 備北交通株式会社 三次町循環	(市街地循環バス) 三次町循環	A	A	利用者拡大に向けて自治組織や商業施設との連携を検討している。	バスへの関心を高める取り組みや、地元商業施設との連携、利用ニーズに合わせた運行計画の見直しを行ったことで、利用者が順調に推移してきていることが評価できる。	
			② 備北交通株式会社 畑敷町循環	(市街地循環バス) 畑敷町循環					
			③ NPO元気むらさきぎ 作木町上地区	作木 ~ 布野	A	A	運行事業者によるヒアリングやアンケート調査により様々な要望が出ている。今後運行日の変更などを予定している。		
			④ NPO元気むらさきぎ 作木町中地区	作木 ~ 布野					
			⑤ NPO元気むらさきぎ 作木町下地区	作木 ~ 布野					
2	廿日市市公共交通協議会 (廿日市市、利用者・住民代表、広島県、中国運輸局、学識経験者(広島大学大学院)、広島電鉄㈱カンパニー、広島県タクシー協会広島西支部、私鉄中国地方労働組合、警察署、道路管理者、広島市、大竹市)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 佐伯交通(有) 玖島・友和線	川上・平谷・大沢・玖島区域～友田・河津原区域～玖島分れ～津田	A	B	・玖島線及び友田・河津原線については、2月に路線を統合することで便数を増やし利便性を向上させた。 ・所山線の月・水・金の追加運行分については、戸別訪問等により利用促進を図ったが、利用の増加が見られなかった。今後もまとまった需要が見込めないため、当該路線を廃止し運行の効率化を図る。 ・これまでサロン等で説明を行ってきたが、今後もさらに対面での周知、PRの機会を増やすとともに、チラシや利用の手引きと合わせて、分かりやすい説明用動画を用い、利用促進を図っていく。	利用が見込まれないため、区域及び曜日運行を廃止したことは、計画当初の需要予測の点が課題であったといえる。また、利用促進を図るための意識啓発ツールを確保するなどの検討が必要であったといえる。今後は地域の状況を的確に把握しながら事業を評価・検証し、この結果を踏まえ事業の必要な見直しを行い、目標が達成することを期待する。	
			② 佐伯交通(有) 所山線	大虫・助藤・所山区域～十王堂	B				
			③ (有)津田交通 浅原線	浅原区域～十王堂	A				
			④ (有)津田交通 飯山・中道線	飯山・中道区域～十王堂	A				
			⑤ (有)津田交通 花上線	花上区域～津田	B				C

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
2	廿日市市公共交通協議会 (廿日市市、利用者・住民代表、広島県、中国運輸局、学識経験者(広島大学大学院)、広島電鉄(株)カンパニー、広島県タクシー協会広島西支部、私鉄中国地方労働組合、警察署、道路管理者、広島市、大竹市)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	⑥ (有)津田交通 吉和線	吉和区域～吉和SA・吉和診療所・吉和支所・福祉センター周辺	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年5月に高齢者の方が電話をかけやすい支所での受付を可能とし、また、平成24年8月のダイヤ改正により、地域を分けて運行していた2つの路線を1つに統一したことで、利便性が向上し利用の増加がみられた。</li> <li>周知、PR活動を強化し、利用登録を推進してきた結果、利用登録は一定程度進んだ。</li> <li>これまで集会所単位で説明会を開催し、一部個別訪問による説明も行ってきたが、今後もさらに対面での周知、PRの機会を増やすとともに、チラシや利用の手引きと合わせて、分かりやすい説明用動画を用い、利用促進を図っていく。</li> </ul>	利用が見込まれないため、区域及び曜日運行を廃止したことは、計画当初の需要予測の点が課題であったといえる。また、利用促進を図るための意識啓発ツールを確保するなどの検討が必要であったといえる。今後は地域の状況を的確に把握しながら事業を評価・検証し、この結果を踏まえ事業の必要な見直しを行い、目標が達成することを期待する。	
3	府中市地域公共交通活性化協議会 (府中市、事業者代表、事業者団体、労組代表、市民・利用者代表、広島運輸支局、警察署、広島県、道路管理者、その他行政)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 中国バス(株) 市街地循環便	府中市役所～府中駅前～リ・フレ前～府中市役所	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに対応し、年間利用者が多い児童館等付近を運行する路線の見直し等を行い、収益率の増加と利便性の向上に努める。</li> </ul>	周知・利用促進に向けた取り組みを図るとともに、利用者のニーズに合わせたルート、ダイヤの見直しを行い、利用の拡大を更に図ることを期待する。	
4	安芸高田市公共交通協議会 (安芸高田市、広島運輸支局、学識経験者、備北交通(株)、(有)吉田タクシー、(有)甲立タクシー、私鉄中国地方労働組合、住民代表、警察署、広島県)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 備北交通(株) 美土里区域	美土里区域	A	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>便の時間帯によって利用者に差があるため、均等化を図る。</li> <li>今後も引き続きアンケート調査を行い、潜在的なニーズの掘り起こしを行う。</li> <li>各家庭設置の情報端末を利用した、効果的なPRや情報提供の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を達した系統については、アンケート実施による住民満足度の確認や各家庭設置の情報端末を通じた情報提供を行うなど利用促進に向けた取り組みが評価できる。計画に位置付けられた目標を達成できていない系統については、地域住民へのアンケート、聞き取り調査を行うなどの確かな利用者ニーズを把握しつつ、高齢者等への利用方法の定着を図るなど検討が必要である。</li> </ul>	
② (有)高宮中央交通 高宮甲田区域	高宮甲田区域								
③ 織田産業(株) (有)吉田タクシー (芸北タクシー)沖田 正	吉田八千代区域								
④ 吉田八千代区域 (有)甲立タクシー (三ツ矢タクシー)岩本 薫 (向原タクシー)升岡秀治	甲田向原区域								

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考	
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果		
4	安芸高田市公共交通協議会 (安芸高田市、広島運輸支局、学識経験者、備北交通㈱、(有)吉田タクシー、(有)甲立タクシー、私鉄中国地方労働組合、住民代表、警察署、広島県)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	⑤ 安芸高田市 二重谷～式敷駅	二重谷～下川根～式敷駅	A	A	・今後も引き続きアンケート調査を行い、潜在的なニーズの掘り起こしを行う。 ・各家庭設置の情報端末を利用した、効果的なPRや情報提供の実施。	目標を達した系統については、アンケート実施による住民満足度の確認や各家庭設置の情報端末を通じた情報提供を行うなど利用促進に向けた取り組みが評価できる。計画に位置付けられた目標を達成できていない系統については、地域住民へのアンケート、聞き取り調査を行うなどの確かな利用者ニーズを把握しつつ、高齢者等への利用方法の定着を図るなど検討が必要である。		
			⑥ 安芸高田市 二重谷～高宮中学校							二重谷～梶矢橋～高宮中学校
			⑦ 安芸高田市 二重谷～吉田							二重谷～下川根～吉田
			⑧ 安芸高田市 二重谷～高宮支所	二重谷～下川根～高宮支所						
			⑨ 安芸高田市 智教寺～吉田	智教寺～大所・横田・本郷～吉田						
5	三原市地域公共交通活性化協議会 (市民、利用者代表、学識経験者、交通事業者及び労組代表者、地方自治体(県・市)、警察署、走路管理者、広島運輸支局)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 三原市 小林・山中野線	徳納(保)宅横～小林鍼灸院	A	A	引き続き、利用者のニーズ把握に努め、ダイヤの見直し等を検討する。その他、利用促進のための広報活動を町内会等との協働の視点から進めていくことを検討する。	利用者ニーズの把握や、広報活動、運行ダイヤの見直し等による利用促進のための検討を進めていることは評価できる。		
			② 三原市 坂井原・下津線	下谷橋～中山歯科						
			③ 三原市 羽倉線	山崎倉庫跡～中山歯科						
			④ 三原市 泉・和草線	和木ストア～中山歯科						
			⑤ 三原市 吉田・筋原線	村上店～中山歯科						

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
6	江田島市公共交通協議会 (広島県、江田島市、学識経験者、 広島県旅客船協会、江田島バス 株、広島県タクシー協会江能支部、 利用者又は住民代表者、広島運輸 支局、警察署 等)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系 統)	① 株江田島タクシー 江田島北部地区	江田島北部地区	A	C	今後も引き続き、啓発活動を行い、平成24年度のアンケート結果等をふまえ、潜在的な利用者の掘り起こしを行う。必要であれば利用者ニーズを活かした運行形態等を見直しすることも検討する。	目標を達している系統について、啓発活動等の推進により持続的な利用者確保に努めている点が評価できる。 一方、目標を達していない系統については、地域住民へのアンケート、聞き取り調査を行うなどの確かな利用者ニーズを把握し、運行ダイヤ・運行形態の見直しを行うなど、更なる利用促進に向けた取り組みの検討が必要である。	
			② 三高タクシー 沖美北部地区	沖美北部地区	A	C	今後も引き続き、啓発活動を行い、平成24年度のアンケート結果等をふまえ、潜在的な利用者の掘り起こしを行う。必要であれば利用者ニーズを活かした運行形態等を見直しすることも検討する。		
			③ 三高タクシー 沖美南部地区	沖美南部地区	A	A	地域住民の自主的・積極的な利用は不可欠であり、引き続き利用促進に係る啓発等を推進していくとともに、アンケート結果等をふまえ、地域のニーズと収支とのバランスが取れる運行形態を検討する。		
7	広島市陸上交通地域協議会 (社)広島県バス協会、(社)広島県 タクシー協会、(有)中野タクシー、(有) カープタクシー、(有)やぐちタクシー、 広島運輸支局、広島市)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系 統)	① (有)中野タクシー 上平原線	上平原～安芸市民病院	A	B	今後は利用実績などを踏まえて運行計画の見直しを検討するとともに、社協の広報紙への掲載などによる、さらなる周知など利用促進に努める。	目標を達している系統については、商業施設と連携した利用促進に向けた取り組みを行うことで、利用者が順調に推移してきていることが評価できる。 一方、利用者数が計画どおり達していない系統については、さらなる周知・利用促進に向けた取組み、利用実態などを踏まえた運行計画の見直しを行うことで、地域公共交通の確保・維持することを期待する。	
			② (有)中野タクシー 山王押手上線①	瀬野川病院～安芸市民病院					
			③ (有)中野タクシー 山王押手上線②	ひまわり・ダイキ前～安芸市民病院					

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考	
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果		
7	広島市陸上交通地域協議会 ((社)広島県バス協会、(社)広島県タクシー協会、(有)中野タクシー、(有)カープタクシー、(有)やぐちタクシー、広島運輸支局、広島市)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系統)	④	(有)カープタクシー 本浦系統1-1	宮の脇集会所～宮の脇集会所	A	B	町内会掲示板への利用実績の掲示による周知など利用促進に努める。	目標を達している系統については、商業施設と連携した利用促進に向けた取り組みを行うことで、利用者が順調に推移してきていることが評価できる。 一方、利用者数が計画どおり達していない系統については、さらなる周知・利用促進に向けた取組み、利用実態などを踏まえた運行計画の見直しを行うことで、地域公共交通の確保・維持することを期待する。	
			⑤	(有)カープタクシー 本浦系統1-2	宮の脇集会所～宮の脇集会所					
			⑥	(有)カープタクシー 本浦系統1-3	宮の脇集会所～宮の脇集会所					
			⑦	(有)カープタクシー 本浦系統1-4	東本浦～宮の脇集会所					
			⑧	(有)カープタクシー 本浦系統1-5	池田整形外科前～宮の脇集会所					
			⑨	(有)カープタクシー 旭町系統2-2	宮の脇集会所～宮の脇集会所					
			⑩	(有)カープタクシー 旭町系統2-3	かすみ一番街～宮の脇集会所					
			⑪	(有)やぐちタクシー 系統①	レッツ前～レッツ前					
⑫	(有)やぐちタクシー 系統②	レッツ前～上矢口上								
8	鳥取市生活交通会議 (学識経験者、住民代表、事業者、事業者団体、事業者労働組合、鳥取運輸支局、警察署、鳥取市、道路管理者)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	日本交通(株) 米里線	越路～市立病院	A	A	地域の自治会との話し合い等により、生活実態に即した運行形態に努めた結果、利用者数が大幅に伸びた。今後も、住民要望の把握に努め、ダイヤ改正やルート改善の見直しを行い、利用者の利便性の向上を図っていく。また、地域に対しては行事等における公共交通の利用を呼びかける等、地域と協働で利用促進活動を推進する。	住民要望の的確な把握によるバス路線の設定や高齢者運転免許返納への運賃割引などの効果的な対策推進により、目標を大きく上回る利用者数がある。定期的な地域住民との意見交換や地域と協働した利用促進が図られ、利用者ニーズに合った地域公共交通の確保・維持が図られていることが評価できる。	
			②	日本交通(株) 米里線(桜谷口)	越路～桜谷口					
			③	日本交通(株) 浜村青谷線	浜村～青谷					

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
9	隠岐の島町地域公共交通会議 (島根県、隠岐の島町、隠岐一畑交通㈱、隠岐タクシー業協議会、旅客自動車協会、交通運輸産業労働組合、県関係団体、住民代表、島根運輸支局、隠岐汽船㈱)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持 事業 (地域内フィーダー系統)	① 隠岐の島町 五箇循環線	五箇支所～五箇支所(循環線)	A	A	今後も引き続き利用者ニーズを把握して、利便性の向上と利用促進につながる運行形態の見直しを行っていく。	目標を大幅に達成しており、利用者ニーズに合った地域公共交通の確保・維持が図られていると評価できる。	
10	雲南市地域公共交通協議会 (雲南市、島根県、島根運輸支局、旅客自動車協会、一畑バス㈱、中国JRバス㈱、JR西日本㈱)、交通運輸産業労働組合、社会福祉協議会、中国地方整備局、警察署、市教育委員会、地域委員、利用者代表、学識経験者)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 雲南市: 芦谷ルート	吉田～芦谷	A	A	1運行あたりの目標は達成する見込み。複数の利用者での乗合バスとなっているが、一方で100日の計画運行日数で、上半期で20日(31人)と利用日数が昨年と同様の利用に留まっている状況。今後は、地域組織との連携により、利用者ニーズを活かした運行形態・エリア設定・幹線である吉田大東線及び北原線との接続改善等に向けたダイヤの見直しにより、更なる利便性の向上と利用者の増加を目指し持続可能な運行を実施する。	事業が計画に位置付けられた目標を達成する見込みがあり、評価できる。今後も更なる周知・利用促進に向けた取り組みが期待される。	
			② 雲南市: 杉戸ルート	吉田～杉戸	A	A	1運行あたりの目標は達成する見込み。複数の利用者での乗合バスとなっているが、一方で100日の計画運行日数で、上半期で18日(31人)と利用日数が昨年の3倍の利用に増加している状況。今後も、地域組織との連携により、利用者ニーズを活かした運行形態・エリア設定・幹線である吉田大東線及び北原線との接続改善等に向けたダイヤの見直しにより、更なる利便性の向上と利用者の増加を目指し持続可能な運行を実施する。		
			③ 雲南市: 菅谷・川尻ルート	吉田～菅谷・川尻	A	A	1運行あたりの目標は達成する見込み。複数の利用者での乗合バスとなっているが、一方で102日の計画運行日数で、上半期で47日(130人)と利用日数が昨年の1.5倍の利用に増加している状況。今後も、地域組織との連携により、利用者ニーズを活かした運行形態・エリア設定・幹線である吉田大東線及び北原線との接続改善等に向けたダイヤの見直しにより、更なる利便性の向上と利用者の増加を目指し持続可能な運行を実施する。		
			④ 雲南市: 民谷ルート	吉田～民谷	A	A	1運行あたりの目標は達成する見込み。複数の利用者での乗合バスとなっている。利用状況も昨年と同様に102日の計画運行日数で、上半期で45日(196人)とほぼ毎日運行している。今後も、地域組織との連携により、利用者ニーズを活かした運行形態・エリア設定・幹線である吉田大東線及び北原線との接続改善等に向けたダイヤの見直しにより、更なる利便性の向上と利用者の増加を目指し持続可能な運行を実施する。		
			⑤ 雲南市: 曾木・上山ルート	深野～曾木・上山	A	A	1運行あたりの目標は達成する見込み。複数の利用者での乗合バスとなっているが、一方で152日の計画運行日数で、上半期で25日(52人)と利用日数が昨年よりも2割程度減少している状況。今後は、地域組織との連携により、利用者ニーズを活かした運行形態・エリア設定・幹線である吉田大東線及び北原線との接続改善等に向けたダイヤの見直しにより、更なる利便性の向上と利用者の増加を目指し持続可能な運行を実施する。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
11	江津市地域公共交通会議 (市民・利用者代表、学識、交通事業者、交通労組代表、道路管理者、警察、商工団体、福祉団体、交通行政機関)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	事業者名:江津市 運行系統名:松川波積線	①川平駅～久坪～上津井～波積診療所 ②上津井～久坪～川平駅	A	A	目標どおりの成果が見られるため、現行のまま継続し、一層の利用促進に努める。	目標に達した系統については、利用者ニーズに合わせた運行計画によるなど利用促進が図られている点について評価できる。一方、目標を達成していない系統については、地域住民のアンケートや聞き取り調査を行うなど、的確な利用者ニーズを把握しつつ、目標を達成することを期待する。
			②	事業者名:江津市 運行系統名:有福千田線	有福本明～堂庭～千田～跡市バス停	A	B	利用実績が伸び悩んでいることへの対応策について自治会と協議を行った結果、個人毎のニーズ把握を再度行う必要があることと、それに合わせて必要な増便を検討することで相乗的に利用者を増やすこととした。	
			③	事業者名:江津市 運行系統名:川平線	後谷～奥谷～川平駅口	A	A	目標どおりの成果が見られるため、現行のまま継続し、一層の利用促進に努める。	
12	益田市地域公共交通会議 (島根県、益田市、石見交通㈱、防長交通㈱、広島電鉄㈱、益田地区タクシー共同組合、㈱益田代行、島根運輸支局、住民代表(益田地区、美都地区、匹見地区)、旅客自動車協会、交通運輸産業労働組合協議会)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	第一交通(株) 笹倉・朝倉線	朝倉上～ 笹倉出会バス停	A	B	今後も地域でのニーズを把握しながら、利用者のニーズに沿った運行形態や運行ダイヤとなるよう随時見直しの検討を行っていく。	利用者の意見を反映した運行ダイヤの見直し等により、目標を達成した路線については評価できる。一方、目標を達成していない路線については、地域住民へのアンケートや聞き取り調査などの確かな利用者ニーズを把握しつつ、高齢者等への利用方法の定着を図る等、利用促進策の強化を検討する必要がある。
			②	第一交通(株) 蛇ノ久保・生角線	蛇ノ久保～ 久保坂バス停	A	C	今後も地域でのニーズを把握しながら、生活実態にあった運行となるよう、見直しの検討を行っていく。	
			③	第一交通(株) 三谷・久原線	中倉会館前～ 東仙道バス停	A	A	今後も利用状況を把握し、目標に満たない時は利用者のニーズに沿った運行形態や運行ダイヤとなるよう随時見直しの検討を行っていく。	
			④	第一交通(株) 大神楽・葛籠線	後溢集会所～ JA美都支所前	A	B	今後も地域でのニーズを把握しながら、利用者のニーズに沿った運行形態や運行ダイヤとなるよう随時見直しの検討を行っていく。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
12	益田市地域公共交通会議 (島根県、益田市、石見交通㈱、防長交通㈱、広島電鉄㈱、益田地区タクシー共同組合、㈱益田代行、島根運輸支局、住民代表(益田地区、美都地区、匹見地区)、旅客自動車協会、交通運輸産業労働組合協議会)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	⑤	第一交通(株)丸茂線	明正寺谷 ~ 丸茂バス停	A	C	今後も地域でのニーズを把握しながら、生活実態にあった運行となるよう、見直しの検討を行っていく。	利用者の意見を反映した運行ダイヤの見直し等により、目標を達成した路線については評価できる。 一方、目標を達成していない路線については、地域住民へのアンケートや聞き取り調査などの確かな利用者ニーズを把握しつつ、高齢者等への利用方法の定着を図る等、利用促進策の強化を検討する必要がある。
			⑥	第一交通(株)桂ヶ平・黒周線	桂ヶ平 ~ 中西小前	A	A	今後も、利用状況を把握し目標に満たない時は、利用者のニーズに沿った運行形態や運行ダイヤとなるよう随時見直しの検討を行っていく。	
13	津山市地域公共交通会議 (学識経験者、地域住民の代表、中鉄北部バス㈱、岡山県タクシー協会津山支部、事業者労組、警察署、津山市、岡山県、岡山運輸支局)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	中鉄北部バス㈱加茂支所線	イオン津山店前 ~ めぐみ荘	A	B	本年度の市内西部地域を中心とした体系整備により、3ヶ年計画の津山市公共交通連携計画に沿った再編が一通り完了した。また再編に合わせ、平成25年4月から地域内フィーダー系統を核とした時刻改正等を実施し、同時に市内バス路線を網羅したバスマップを作成し、市民に広く広報に努めている。 今後は、利用者や地域住民等からの意見・要望・評価を踏まえ、運行ダイヤの改良、接続の時間等も見直していくとともに、これらバス路線の周知を各地域に合った形で図り、PDCAサイクルに基づく計画のスパイラルアップを実施する。	新たに運行を開始した路線については、利用者が期待するサービス等の調査・検討が予定されており、引き続き地域の状況を的確に把握しながら事業を評価・検証することで目標が達成されることを期待する。
			②	中鉄北部バス㈱勝北支所線	イオン津山店前 ~ 新野桜橋	A			
			③	中鉄北部バス㈱(奥津川)勝北支所線	イオン津山店前 ~ 奥津川	A			
			④	中鉄北部バス㈱津山東循環線	イオン津山店前 ~ 津山 ~ イオン津山店前	A			
			⑤	中鉄北部バス㈱(南)イオン津山線	津山 ~ 東新町 ~ イオン津山店前	A			
			⑥	中鉄北部バス㈱(北)イオン津山線	津山 ~ 志戸部下 ~ イオン津山店前	A			
			⑦	中鉄北部バス㈱小循環線	津山 ~ 鉄砲町 ~ 津山	A			



番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考	
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果		
13	津山市地域公共交通会議 (学識経験者、地域住民の代表、中鉄北部バス㈱、岡山県タクシー協会津山支部、事業者労組、警察署、津山市、岡山県、岡山運輸支局)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系 統)	⑧	中鉄北部バス㈱ 津山西循環線	津山～ マルナカ院庄店～ 津山	A	B	新たに運行を開始した路線については、利用者が期待するサービス等を調査・検討することが予定されており、引き続き地域の状況を的確に把握しながら事業を評価・検証することで目標が達成されることを期待する。		
			⑨	中鉄北部バス㈱ マルナカ西循環線	マルナカ院庄店～ 津山～ マルナカ院庄店	A				
			⑩	特定非営利法人 エコビレッジあば 阿波区域	阿波区域	A	A			今後も利用促進・啓発等を推進し、より一層の環境整備を行う。 利用者が不満と感じている点や今後期待するサービス等について調査・検討を実施する。
14	新見市地域公共交通会議 (新見市、交通事業者(備北バス ㈱、㈱クラタク)、市民代表、学識経験者、岡山運輸支局、岡山県、警察署)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系 統)	①	新見市 井倉井倉野線	井倉野～井倉駅	A	A	公共交通空白地域に幹線及びJR線と接続する市町村バスと市内循環バスを運行することで、市街地中心部への移動手段の確保し、地域住民の広域的移動を可能としたことが評価できる。 引き続き利用促進を図り、潜在的な利用者の掘り起こしを行うことで、今後も持続可能な移動サービスの確保・維持を期待する。		
			②	新見市 寺下・灰貝・木の畝線	新見高校前～木の畝	A	A			今後も引き続き、啓蒙活動を行い、潜在的な利用者の掘り起こしを行うが、定時定路線デマンド型運行では高齢者率が高い地域ではバス停まで出る限界があるので、今後はエリア型デマンド運行を視野に入れた運行形態を取り入れることによって、新たな利用者の確保を行いたい。
			③	備北バス(株) 市内循環線	石蟹～新見駅～石蟹	A	B			今後も引き続き、啓蒙活動を行い、潜在的な利用者の掘り起こしを行うが、より一層の利用者の確保を行うため、利用者ニーズを活かした運行形態、ダイヤの見直しを行うことによって、持続可能な運行を実施する。
15	真庭市地域公共交通会議 (学識経験者、真庭PTA連合会、真庭市老人クラブ連合会、真庭市民生委員協議会、真庭市婦人協議会、真庭商工会、真庭観光連盟、真庭市小学校校長会、勝山高等学校、真庭市社会福祉協議会、中鉄北部バス、中鉄美作バス、備北バス、岡山県タクシー協会真庭支部、私鉄中国地方労働組合、岡山県、真庭市、岡山運輸支局、警察署)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系 統)	①	真庭市 蒜山線	久世～蒜山	A	A	定期的な地域住民との意見交換や地域と協働した利用促進を図ることで、利便者ニーズに合った地域公共交通が確保・維持されていることが評価できる。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
16	瀬戸内市 (瀬戸内市、両備ホールディングス(株)、宇野自動車(株)、日生運輸(株)、東備バス(株)、市商工会、市観光協会、市民又は利用者の代表、岡山運輸支局、警察署、岡山県、学識経験者)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 東備バス(株) 牛窓デマンド系統	牛窓地域(島しょ部を除く)・邑久町本庄の一部の区域運行(フルデマンド)	A	C	平成25年2月から、電話予約受付時間の拡大と利用時刻の30分前までの予約を受け付けられるように変更して運行しており、利用者数も増加している。 引き続き、利用促進を図るため、対面での周知やPRの機会を増やすとともに、地域住民の自主的・積極的な利用を推進するため、具体的な事例紹介をしながら、幅広い広報活動に取り組んでいく。 また、要望の多い運行時間についても見直しを行い、終了時間を17:00に変更し、利用促進を図る。	利便性を考えると予約の受付締切時間はできるだけ遅いことが望まれる。既に利用者の要望を受け、当該締切時間を利用時刻の30分前に変更しており、今後も地域のニーズを的確に把握しながら、利用方法の周知やPRなどの利用促進策の検討が必要である。	
17	笠岡市地域公共交通活性化協議会 (笠岡市、学識経験者、利用者、西日本旅客鉄道(株)、中国バス、笠岡地区旅客船協会、(社)岡山県タクシー協会、バス乗務員、岡山国道事務所、岡山県、警察署、岡山運輸支局)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① (株)中国バス 大島中線	松尾～笠岡市民病院	A	A	今後も引き続き、利用促進を図るとともに、潜在的な利用者の掘り起こしや、必要であれば利用者ニーズを活かした運行形態、ダイヤの見直し等を検討し、目標を達成すべく持続可能な運行を実施する。	概ね目標は達成されているが、引き続き積極的な利用促進と利用者ニーズに基づく運行サービスの見直し等を図り、今後も地域公共交通の確保・維持を期待する。	
		陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	② (株)中国バス 尾坂線	尾坂上～笠岡市民病院	A	B	持続可能な公共交通とするには、地域住民の自主的・積極的な利用が不可欠であり、今後も利用促進に係る啓発等を推進していくとともに、より一層の環境整備を行う。 また、利用者が不満と感じている点や今後期待するサービス等について調査・検討を実施する。		
18	玉野市地域公共交通会議 (玉野市、住民・利用者代表、学識経験者、両備ホールディングス(株)、下津井電鉄(株)、(社)岡山県タクシー協会玉野支部、西日本旅客鉄道(株)岡山支社、玉野運行管理者協議会、岡山県、岡山運輸支局、警察署)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 旭自動車(株) 玉原・和田・日比エリア	玉原・和田・日比エリアの区域運行	A	A	利用者アンケートや高齢者アンケート(老人クラブ会員対象)を実施し、改善ニーズへの対応を行う予定である。	利用者ニーズに基づく増車や乗り場の追加を検討するなど、継続的に利用者の利便性向上に向けた取組を進めていることが評価できる。	
			② 旭自動車(株) 荘内・八浜エリア	荘内・八浜エリアの区域運行			玉原・和田・日比エリアにおいて、需要が当初の予想を大きく上回り、現行のセダン型車両1台体制では、1時間あたりの運行が慢性的に過密となっており、これに対処するため、平成25年4月からセダン型車両を1台増車し、柔軟な運用を行うことにより、さらなる利便性の向上を図る。 ・また、各地域において、乗り場の追加要望等が挙がっているため、これらに対応し、利便性の向上を図る。 ・その他、シーバス東児～すこやか線に”日赤玉野分庁”への乗り入れ要望が多いことから、これに対応することで、シータクとの乗り継ぎも踏まえ、総合的な利便性改善に努める。		
			③ 双葉タクシー(株) 山田・東児エリア	山田・東児エリアの区域運行					
			④ 下電観光バス(株) 田井・中央・玉エリア	田井・中央・玉エリアの区域運行					

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
19	倉敷市公共交通確保維持改善協議会 (倉敷市、岡山県、水島臨海鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、山陽タクシー(株)、(株)日の丸タクシー、中国運輸局、岡山運輸支局)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	山陽タクシー(株) 船穂線	新倉敷駅南口～船穂公民館～イオンモール倉敷	B	C	①～③、⑥については、住民アンケート調査や利用者ヒアリングを基にダイヤの見直しが行われたが、4系統の内3系統で目標利用者数の減少が見込まれている。ダイヤ見直しの検証とその後実施された利用者ヒアリング調査結果を基に、ニーズの分析等の検討が必要である。 地域住民による運営組織化の予定があり、地域交通の住民意識の醸成や交通利便の向上が図られることを期待する。	
			②	山陽タクシー(株) 柳井原線	東畑～船穂公民館～高齢者福祉センター	B	C		
			③	山陽タクシー(株) 北回線	高齢者福祉センター～船穂公民館～新倉敷駅北口	B	C		
			④	(株)日の丸タクシー 循環線(虹コース)	吉備真備駅～川辺宿駅～吉備真備駅	B	B		
			⑤	(株)日の丸タクシー 循環線(にこにこコース)	吉備真備駅～川辺宿駅～吉備真備駅	B	B		
			⑥	(株)日の丸タクシー 南路線	吉備真備駅～若葉台団地～船穂公民館	B	B		
20	赤磐市地域公共交通会議 (赤磐市、(株)宇野自動車、(株)吉井観光バス、(有)皿井タクシー、(株)宇野自動車運転手代表者、赤磐市自治連合会(山陽、赤坂、熊山、吉井地域)、学識経験者、赤磐市社会福祉協議会、赤磐市商工会、岡山県、警察署、岡山運輸支局)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	(有)竹内タクシー 是里線	周匝～是里～周匝	A	A	④・⑤については、地域のため路線バス廃業事業者の路線を引継ぐ必要から、当初計画していた循環線の見直しを実施することができず、目標利用者数の減少が見込まれている。 地域住民による運営委員会によって、地域交通の住民意識の醸成や交通利便の向上が図られることを期待する。	
			②	(有)竹内タクシー 中山線	周匝～中山～周匝	A	A		
			③	(有)竹内タクシー 滝山線	周匝～滝山～周匝	A	A		
			④	(有)竹内タクシー 河原屋線	周匝～河原屋～周匝	A	A		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
20	赤磐市地域公共交通会議 (赤磐市、(株)宇野自動車、(株)吉井観光バス、(有)皿井タクシー、(株)宇野自動車運転手代表者、赤磐市自治連合会(山陽、赤坂、熊山、吉井地域)、学識経験者、赤磐市社会福祉協議会、赤磐市商工会、岡山県、警察署、岡山運輸支局)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系統)	⑤	(有)荒嶋建設 西勢実線	仁堀東～西勢実～仁堀東	A	A	事業開始後の利用登録者を対象としたアンケート調査を実施した。その結果を基に、必要に応じて利用者ニーズを活かした運行形態、ダイヤの見直しを行うことで、持続可能な運行を実施する。	各系統は計画どおり適切に運行され、事業全体として目標値を上回る利用者数が見込まれており評価できる。
			⑥	(有)荒嶋建設 中勢実線	仁堀東～中勢実～仁堀東	A	A		
			⑦	(有)荒嶋建設 暮田・平山線	仁堀東～暮田・平山～仁堀東	A	A		
21	岩国市地域公共交通活性化再生協議会 (山口県、岩国市、岩国市交通局、錦川鉄道株、タクシー協会、錦川清流線を育てる会、地域住民代表、警察署、山口運輸支局、(オプ)学識経験者、中国運輸局鉄道部)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	岩国市 欽明路・上谷線	玖珂駅～上谷東	A	B	(玖珂区域) 今後も引き続き、啓蒙活動及びJR岩徳線・広域路線バスへの乗り継ぎに適したダイヤの設定等の利用促進を行い、特に、1運行当たりの利用者数が前年度を下回っている3路線については、利用者ニーズを活かした運行形態、ダイヤの見直しをすることで、目標を達成すべく持続可能な運行を実施する。  (錦区域) 錦川清流線への乗り継ぎに適したダイヤの設定等、当日予約化を目指すとともに、PR等利用促進策を実施する。	今後もより多くの利用を促す利用者のニーズを踏まえた運行ダイヤの見直し等利用促進策を実施することによって、目標を達成することを期待する。
			②	岩国市 谷津上線	玖珂駅～谷津上回転場				
			③	岩国市 臼田線	玖珂駅～臼田回転場				
			④	岩国市 上市北・千束線	玖珂駅～玖珂千束				
			⑤	岩国市 玖西循環線	玖珂駅～玖珂駅				
			⑥	岩国市 広東・大谷線	木積～錦町駅～錦中央病院				

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
22	宇部市地域公共交通確保維持改善協議会 (宇部市、(有)嘉川タクシー、山彦タクシー、船木鉄道㈱、宇部山電タクシー㈱、宇部市交通局、山口運輸支局)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	①	(有)嘉川タクシー 運行系統：ひまわり号	二俣瀬地区	A	A	・安定した収支率を維持していくためにも、利用者ニーズを把握するとともに、地域づくりの団体と連携した利用促進を行う。	目標を達している系統については、より多くの利用を促すためにエリアの見直し及び事業のPR等を行った点が評価できる。目標を達成していない路線については、利用者のニーズに合わせたダイヤ、利用方法の見直し等の更なる利用促進策を期待する。
			②	伊藤正一 運行系統：山彦タクシー	小野地区	A	A	・利用実態を調査し、エリア設定の見直しなどで利用者の増加を図っていく。 ・地域のイベントでの周知活動により、潜在需要を掘り起こす。	
			③	船木鉄道㈱ 運行系統：くすくす号	吉部地区 万倉地区	A	B	・現在、利用者の多くはリピーターがメインとなっている。 ・一定数の方には、デマンドが定着しつつありますが新規客の掘り起こしが必要となっています。 ・継続的な運行にする為には、自主的な利用が必要なので、地域のイベントなどで実際、乗車していただき、体験していただく場を増やさなければならない。 (H24年度 グリーンツーリズム実績 実施回数 20回 延利用者数 350人)	
			④	宇部山電タクシー㈱ 運行系統：なでしこ号	西宇部校区	A	B	・現在、利用者の多くはリピーターがメインとなっており、新規利用者を増やすためにも、引き続き利用促進の企画を実施する。 ・アンケートや利用実績を分析し、さらなる利用実態に合わせたダイヤの見直しを検討する。	
			⑤	宇部市交通局 市内循環線(恩田・空港回り)	宇部新川駅～山口宇部空港～宇部新川駅	A	B	・今後も引き続き、バス利用促進につながるよう時刻表や各種チラシ等を作成、配布することで情報提供を行う。 ・経費面では職員の退職者を嘱託職員で補充するなど経費削減を行う。 ・乗降データを基にし、ダイヤ改正等、利便性の向上に努める。	
			⑥	宇部市交通局 市内循環線(工学部・空港回り)	宇部新川駅～山口宇部空港～宇部新川駅	A			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考	
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果		
23	下関市地域公共交通会議 (下関市連合自治会、サンデン交通 株、ブルーライン交通株、県乗用自 動車協会、JR西日本株、交通労 連、山口運輸支局、警察署、社会福 祉協議会、学識経験者、下関市)	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー系 統)	①	人丸タクシー株 粟野・滝部線	油タンク前～ももとせ滝部 診療所	A	C	24年度中に実施したアンケートや利用状 況等を勘案し、平成25年1月から土曜日の 運行を金曜日に変更し、総合支所・JA・金 融機関などへの利便性を向上させた。 今後も定期的にコミュニティタクシー運行 委員会を開催し、運営改善を行う。また、 地域内のイベントにおいてPRを図る。	目標を達成した路線については、より多くの 利用を促すために事業のPRをした点が評 価できる。 目標を達成していない路線については、さら なる周知・利用促進に向けた取り組みが必 要であり、地域との連携を強化し、協働して 地域公共交通の確保・維持に向けた検討が 必要である。	
			②	下関市(豊田) 柵路子線	豊田総合支所～上柵路子	A	A	更なる利用促進を行う。自治会へのチラシ 各戸配布等を行う。		
			③	下関市(豊田) 一の俣線	豊田総合支所～佐野	A	A	更なる利用促進を行う。自治会へのチラシ 各戸配布等を行う。		
			④	下関市(豊田) 今出線	豊田総合支所～地吉	A	A	更なる利用促進を行う。自治会へのチラシ 各戸配布等を行う。		
			⑤	下関市(豊田) 一の瀬線	豊田総合支所～中の瀬	A	C	自治会へのチラシ各戸配布等を行い、更 なる利用促進を行う。聴き取りとアンケート 調査を行い、経費削減の方法を検討する。		
			⑥	下関市(菊川) 椈の木・保木線	バスターミナル～椈ノ木	A	C	啓蒙活動とともにアンケート調査を行い、 潜在的な利用者の掘り起こしや、ニーズに 基づいたダイヤの見直等を検討し、目標を 達成すべく持続可能な運行を実施する。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
24	美祢市地域公共交通協議会 (美祢市、学識経験者、山口運輸支局、JR西日本㈱、路線バス事業者(6者)、タクシー事業者(3者)、警察署、公募委員)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 美祢構内タクシー(株) 豊田前・西厚保地区線	豊田前・西厚保地区	A	B	競合する事業者との協議を進め、競合部分の解消を図ることで、目標達成に繋げる必要がある。	地域交通の確保・維持のために利用促進策の検討が必要である。 実施している地元店舗との協賛・協働活動は、持続可能な地域公共交通確保に向けた取り組みとして、引き続き確保・維持のために検討が必要である。	
			② ㈲秋芳タクシー 秋芳地域南部線	秋芳地域南部地区	A	B	当該地域では、一部店舗が利用者に対して片道運賃の負担を行っている。別店舗でも同様の取組が出来ないか働きかける。		
			③ いさむや第一交通(株) 美東地域北部線	美東地域北部地区	A	B	当該地域では、一部店舗が利用者に対して片道運賃の負担を行っている。別店舗でも同様の取組が出来ないか働きかける。		
			④ 美祢構内タクシー(株) 山中・堀越外地区線	山中・堀越外地区	A	B	乗降場所の事業者にとってもある程度の利益をもたらすものであり、事業者との新たな事業連携を行って行く必要がある。		
25	阿武町地域公共交通会議 (山口県、阿武町、防長交通㈱)、萩近鉄タクシー(株)、山口県バス協会、阿武町議会議員、利用者代表、私鉄中国地方労働組合防長支部、山口運輸支局)	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	① 阿武町 運行系統名: 奈古	阿武町役場～筒尾・河内～阿武町役場	A	A	利用促進に向けて事業のPRを行うとともに、バイパス道路開通に併せてルートの見直しを行う。	より多くの利用を促すため、ルートの見直し及び停留所の追加等を行った点については評価できる。 目標を達成していない路線については、さらなる周知・利用促進に向けた取り組みにより、協働して地域公共交通の確保・維持に努めることを期待する。	
			② 阿武町 運行系統名: 宇田郷	ふれあいセンター～大刈・井部田・平原・つづら～ふれあいセンター	A	B	利用数は目標を下回っているが月ごとに見ると増加傾向にあり、直近の3月は5.4人となっている。利用促進に向けて事業のPRを行う。		
			③ 阿武町 運行系統名: 福賀1	福賀診療所～宇生賀・伊当～のうそんセンター	A	A	利用促進に向けて事業のPRを行う。		
			④ 阿武町 運行系統名: 福賀2	福賀診療所～飯谷・久瀬原～のうそんセンター	A	A	利用促進に向けて事業のPRを行う。		